

菊陽人 りさーち



まつの まなと
松野 真那斗くん
(8歳・道明)

- 趣味
サッカー
- 将来の夢
サッカー選手
- 自慢できること
走るのが速い
- 今一番やりたいこと
ゲームをしたい

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



よしだ ゆうき
吉田 有輝くん
(7歳・馬場楠)

- 趣味
サッカー
- 将来の夢
サッカー選手
- 自慢できること
足が速い
- 今一番やりたいこと
ヘディングをしたい

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権ってなあに?
【No.44】

- ◆人権標語
「声かけよう なやんでる人 見かけたら」 菊陽中部小学校 5年 太田 晴己
「分かれ道 いじめる方へは 行かないぞ」 菊陽北小学校 6年 黒木健士朗

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

12月4日(火)～12月10日(月) 第64回人権週間 12月10日は 人権デーです

人権ってなあに?
人は、誰もがみんな幸せに生きていたいと思っています。そして誰もが人間として大切にされ、こころ豊かに生きていく権利を持っています。それを人権といえます。



日常生活の何気ない言動やちょっとした出来事、当たり前だと思っていることを人権の視点で振り返ってみると、「何か変だぞ」「もしも自分や自分の家族が言われたら…」など、身近な人権問題が見えてきます。
あなたは女性に「女のくせに」とか「やっぱり女は…」と言ったり、女性が自分自身で「自分は女だから仕方がない」と思ったりしたことはないでしょうか。
あなたは、職業、学歴、出身など聞いただけでその人を偉く思ったり、見下し

たりすることはないでしょうか。
「血液型が*型の人は○○だ」と決めつけたり、全部を知っているわけでもないのに「悪い」とか「かわいい」というイメージを持ってしまったりしていませんか。

これらのことを反省してみると、私たちには日常生活の中で知らず知らずのうちには差別意識が身についています。一部を見て全体を判断してしまったり、予断と偏見で物事を見てしまったりすることは、人から夢や希望を奪いかねません。だから、同和問題をはじめいろいろな人権に関する学習をすることで、間違った見方や考え方に気付き、自分や他の人の人権を守ることができるようになるのです。

人権について学ぶことは、私たち自身の生き方について問い直すことでもあります。まず日常の「自分」を見つめることから始めましょう。そして何ができるのかを自分の言葉で考え、できることから行動に移してみましょう。



きくよう文芸

菊陽句会報

健脚に老いの忍び来て草じらみ	坂本百合子	屋の虫線路の石の錆の色	井上久美子
静かなる七十路坂の良夜かな	田中 郁子	黄金波黄泉へ旅立つクラクション	宮川ユキエ
無人駅露草いよよ盛りなる	井 子文	思い出の古着の始末秋一と日	日高 妙子
秋冷や葉煎じる夜の厨	財津 早雪	テープ切る満々たる顔天高し	曾我 育代
夕風や萩の小花のこぼれ咲く	原野レイ子	千枚田風の押し合ふ稲の秋	曾我トモ子
さからはず零れゆくま実むらさき	力 幸子	刻々と雲のアートよ天高し	紫藤 祥子
天高し山鮮やかに阿蘇涅槃	寺尾千代子	逃げる間も遊び心か稲すずめ	村上 朋子
阿蘇山麓今日の一日をコスモスと	高橋 孝子	おくつきの金文字眩し秋彼岸	野口 令史
豊稔の稲束どこと土に置く	堀川 妙子	絆とは何かと知れり敬老日	松橋 強
自転車レース雲のうごきの爽やかに	福田 貴子	幼な子の走りに涙す運動会	藤本 純子
一世紀生きて祝がるる敬老日	佐藤 節	天高く阿蘇のてっぺんよく見える	佐藤 健
柿熟れて朝ごと鳥の賑わし	吉野 早苗	グライダー芒の尾根の茫洋と	佐藤 澄世

短歌会

雨止みて雲間に架かる虹の橋秋近づきて光和らぐ
暑き過ぎ遮光ネットを取り去れば赤み増したりフルーツトマト
遠く近く漁火ともし富岡の海の暗さよ天も地もなし
丸太木をひと足ひと足登りたり覆ふ木立に光差し来る
十四機編隊組みてヘリコプター去れば稲穂のそよぐ広原
木にからむ赤き実のつくカラス瓜秋日あたりて光見えたり
朝あさに阿蘇山並に向き歩く爽やかな風わが身を包む
阿蘇谷は眩しきほどに輝きて秋の深みにコンバインの動く

東部町民センター人権講演会を開催します

- 日時 12月5日(水) 午後7時30分～午後9時
- 場所 東部町民センター 多目的ホール
- 参加費 無料
- 講師 飯開 輝久雄さん(合志市在住)
教職員・行政職員で結成されている「人権バンドゆう」のメンバーの一員で、人権に対する思いを歌詞・作曲して歌い、これまでの経験で感じたことなどを語ってくださいます。飯開さんのお話で心温まる幸せな時間を過ごしましょう。皆様のご来場をお待ちしています。
- 問い合わせ 東部町民センター ☎(232)3803

